

日本ロレアル、化粧品会社として初めて DMM.make AKIBA とスポンサー契約

- 日本ロレアル リサーチ&イノベーションセンター、日本最大のモノづくり支援施設 DMM.make AKIBA と連携し、短期間で製品開発を実現
- 日本初の「ビューティーハッカソン」を 8 月開催！ 次世代の理系女子や若手エンジニアを支援：“IoT を活用した化粧品の機能評価ツール”をテーマにアイデアを競う

< 報道資料 >

2017 年 6 月 27 日

世界最大の化粧品会社ロレアルグループの日本法人である日本ロレアル株式会社（東京都新宿区、代表取締役社長ジェローム・ブリュア）は、同リサーチ&イノベーションセンター（神奈川県川崎市）が、デジタルおよび IoT（インターネット・オブ・シングス）分野の製品開発を促進するため、株式会社 DMM.com（本社：東京都港区、代表取締役社長 片桐孝憲、以下 DMM）が運営するハードウェア開発支援施設 DMM.make AKIBA（東京都千代田区）とスポンサー契約を 2016 年 12 月に締結しました。

これまでスポンサー契約は IT 企業が中心でしたが、化粧品会社として初めて DMM.make AKIBA とのスポンサー契約を実現しています。同契約では、DMM.make AKIBA のモノづくり支援施設を利用して製品開発を行うほか、次世代の理系女子や若手エンジニアを育成すべく、日本初のビューティーハッカソンを 8 月に開催します。

●革新的な研究開発を加速：開発期間やコストの削減を実現

DMM.make AKIBA は、2014 年に開設され、本格的な機材を 150 点以上取り揃えた日本最大のモノづくり支援施設です。日本ロレアルは 2017 年 1 月から研究員 1 名を DMM.make AKIBA に派遣し、装備されている高性能の最先端機材を用いて研究用測定機器やデジタルを応用した美容機器などの開発を加速させ、世界で最も感度の高い日本の消費者のみならず、アジアやグローバル市場で支持される革新的な製品開発につなげていきます。

第一弾として、消費者の日々の生活や行動の中でマスカラなどの製品の機能を測定する眼鏡型測定機器のプロトタイプをわずか 3 カ月で完成するなど、高い成果をあげており、計測したデータを製品開発に積極的に活用していきます。今後は、開発ニーズに合わせて、派遣する研究員数を増やす予定です。

●日本初のビューティーハッカソンを通じて、次世代の理系女子や若手エンジニアを育成

日本ロレアル（主催）は、DMM.make AKIBA（運営；施設を提供）、アールエスコンポーネンツ（パートナー企業；制作用の電子基板、各種センサーなど提供）、講談社 Rikejo（協力企業）の支援のもと、化粧品を通じて得る経験、感覚、効能効果を、IoT を活用して楽しく評価し、共有する手法を提案することをテーマに日本初のビューティーハッカソン*を 8 月に実施します。日本ロレアルは、化粧品に関するトレンドや消費者の嗜好に関するデータなどを提供し、デジタル分野のアイデアを広く募集して今後の製品開発に活用するとともに、次世代の理系女子や若手エンジニアを育成していきます。



*ハッカソン：一定期間集中的にプログラムの開発やサービスの考案などの共同作業を行い、その技能やアイデアを競う

【日程・プログラム】

会場	DMM.make AKIBA Base（東京都千代田区神田練堀町 3 富士ソフト秋葉原ビル 12F）
対象	20 歳以上（応募時点）
応募申込み先	http://ptix.co/2qhy0cK （応募期間：6 月 30 日（金）～7 月 31 日（月）まで）
8 月 19 日（土）	Day 1 - 考える アイデアソン： アイデア考案
8 月 26 日（土）	Day 2 - 創る ハッカソン： アイデアを具現化
8 月 27 日（日）	Day 3 - 見せる ハッカソン： プレゼンテーション・審査発表
賞金	審査委員により選定された優勝チームには、日本ロレアルより賞金 30 万円と DMM.make AKIBA よりプロトタイプ改良券を贈呈

「化粧品業界は、最先端の科学や多様な技術を結集して成り立っており、非常に早いペースで日々進化しています。日本で初めて開催されるビューティーハッカソンを通じて、化粧品の面白さや楽しさを知り、クリエイティヴ力と技術力を発揮した斬新なアイデアに期待しています」と日本ロレアル リサーチ&イノベーションセンター所長 キャロリーヌ・ドゥロナーは語っています。また、DMM.make AKIBA 総支配人 橋場光央氏は「新たに IoT の分野に進出する日本ロレアル社との共創により、これまで誰も体験したことのない、新しい価値が生まれていく未来を楽しみにしています」とコメントしています。

●日本ロレアル — デジタルを活用し、戦略的なイノベーション拠点を推進

ロレアルグループは、日本を戦略的なイノベーション拠点として位置づけており、1983 年にアジア初の研究所である日本ロレアル リサーチ&イノベーションセンターを開設しました。「世界から日本へ、日本から世界へ」という理念のもと、革新的なイノベーションの創出に注力しています。近年、化粧品と親和性の高いデジタルを積極的に活用しながら、消費者が化粧品を通じて得る経験、感覚、効能効果をより多角的に分析し、新しい消費者体験の提供や革新的な製品の開発を実現しています。

2016 年には、デジタルを活用し、毛髪の表面状態を音楽で表わす「ソニフィケーション技術」をエル・プロデュースとの共同研究によって開発し、最も優れた基礎研究に与えられる「2016 年 IFSCC 基礎研究賞」を受賞しています。



DMM.make AKIBA にて：日本ロレアル リサーチ&イノベーションセンター研究員

【主催】日本ロレアルについて(www.nihon-loreal.jp)

L'ORÉAL
JAPAN

1963年から事業を開始し、1996年に日本法人である日本ロレアル株式会社が設立されました。2,500人の従業員を有し、化粧品の輸入、製造、販売、マーケティングを行っています。現在、「ランコム」「イヴ・サンローラン」「シュウ ウェムラ」「ケラスターゼ」「ロレアル パリ」「メイベリン ニューヨーク」を含め23のブランドを取り扱っています。1983年にアジア初の研究開発拠点を日本に開設し、現在、日本ロレアル リサーチ&イノベーションセンター(神奈川県川崎市)として、日本をはじめ、アジアの研究開発の戦略的なイノベーション拠点を担っています。200名以上の研究者を有し、うち女性研究者は56%を占めています。2005年から生命・物質科学分野における博士後期課程在籍または進学予定の若手女性科学者を支援する奨学金「ロレアル-ユネスコ女性科学者 日本奨励賞」を推進しています。昨年までに43名の若手女性科学者が受賞しています。

【運営】DMM.make AKIBA について(<https://akiba.dmm-make.com>)

DMM.make AKIBA

時代に合わせた柔軟なサービスを展開するDMM.com Group。そのDMMが2014年に開設し、秋葉原に構える「DMM.make AKIBA」は、ハードウェア開発・試作に必要な最新の機材を取り揃えた「Studio」、シェアオフィスやイベントスペースなどビジネスの拠点として利用できる「Base」で構成された、ハードウェア開発をトータルでサポートする総合型のモノづくり施設です。現在約250社の企業が自社のプロダクト開発に取り組んでいます。DMM.makeは“作り手”のために必要な「情報」や「ツール」「人」が集まるプラットフォームです。ハードウェア開発だけではなく、ファッションやメディアアートなど、幅広いクリエイティビティをサポートする施設として、各種エンジニアやデザイナー、クリエイターにご利用いただいています。DMM.make AKIBAは今後も、世界で最も新しい価値観を生み出し続ける場所として、モノを作りたい人がモノを作り続けられる環境の実現を目指していきます。



【パートナー企業】アールエスコンポーネッツ株式会社について(jp.rs-online.com)



アールエスコンポーネッツ株式会社(日本法人)は1999年3月、英国で創業80年のElectrocomponents UK Limited100%出資の日本法人として事業を開始。電子部品・FA制御機器・工具・消耗品など50万点以上の商品を販売しています。また自社のグローバルネットワークで、ご注文いただいた商品を世界各国から迅速に顧客の元へ届けるだけでなく、国内在庫品については全て即日出荷で対応。「必要などきに、必要な数だけ、すぐにお届け」をコンセプトに、オンラインでの販売をメインとした事業を展開しています。最近ではARMベースのシングルボードコンピュータとして有名なRaspberry Pi(正規総代理店)、高品質で低価格な自社ブランドのRS Pro、その他世界一流メーカー2,500社の製品を幅広く取り揃え、ますます加速する技術開発の現場を、多角的にサポートします。

【協力企業】講談社 Rikejo について(<http://www.rikejo.jp/>)

Rikejo
(リケジョ)

理系女子応援サービス「Rikejo(リケジョ)」は、理系進学を目指す女子学生の進学の悩みに応えたり、理系の仕事や進学先の情報を提供したりするサービスです。2010年6月より、講談社が開始しました。

お問い合わせ先

【日本ロレアルについて】日本ロレアル株式会社 コーポレート・コミュニケーション本部: 船津 TEL: 03-6911-8104

【DMM.make AKIBA について】株式会社 DMM.com DMM.make AKIBA 広報: 境・田中 TEL: 03-5298-5317